2025 年度　第 1 回 6 月東大本番レベル模試　地理探究　採点基準

■　単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは０点。

■　論述問題

①「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

②　以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

■　共通減点基準

①　加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。

②　下線の付け忘れは 1 問につき 1 点減点。

③　指定語句不使用は，指定語句 1 つにつき 1 点減点。
（解答中のどこかで使用していればよい。
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。）

④　字数オーバーは 1 点減点。

＊減点しなくていい要素，その他の注意

①　地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスターンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

②　加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は０点だが，減点はしない。

③　加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④　文章が未完のものも減点しない。

■　採点記号について

１．＜□□□□＞　加点ポイント
２．□□□□×　　事実に誤認あり
３．□□✔□□　　誤字あり／脱字あり

■ 設問別加点基準

1）＿＿＿＿＿部分は必須キーワードであり，この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。

2）○○／△△　は「○○でも△△でも可」を意味する。

3）「②（①の説明として）」は，加点ポイント①を正解していなくても，加点ポイント②に該当すれば加点する。

第 1 問（20 点）

設問 A

⑴　3 点

温暖化による海水温上昇でメディケーンが増強し，普段は涸れていて保水力の低いワジに降水が流れ込み，洪水が起きやすくなる。(2 行)

【加点ポイント】

①＜1 点＞【水害の頻度が高まる理由】

○メディケーン（低気圧）が増強する

／メディケーンの頻度が上がる／メディケーンの強度が増す　→1 点

②＜1 点＞【①の背景】

○温暖化／海水温の上昇　→1 点

③＜1 点＞【ワジの下流域で水害が発生しやすい理由】

○ワジは保水力が低い／雨水が地中に浸透しにくい／土地の排水機能が乏しい

／雨が降ると急速に流量が増える／普段は涸れているので治水対策が遅れている　→1 点

⑵　2 点

本来は雨季である冬の降水量が少なく，干ばつが発生したため。(1 行)

【加点ポイント】

①＜1 点＞【不作の要因】

○干ばつ（水不足）の発生／雨の少ない時期が長期間続いた　→1 点

②＜1 点＞【①の補足】

○冬（10～4 月）の降水量が少なかった／本来は冬の降水が多い　→1 点

×「夏（7～8 月）の降水が少ない」のみ

⑶　3 点

洪水の減少で上流域からの肥沃な土砂の供給が減り，過剰な灌漑で土壌が塩性化したため，農地として利用できない土地が増えた。(2 行)

【加点ポイント】

①＜1 点＞【下流域の環境変化】

○農地として利用できない土地が増えた／農地の荒廃／地力の低下／（土地が）やせる　→1 点

②＜2 点（1 点×2）＞【①の要因】
　○（洪水による）上流域からの肥沃な土砂の供給が減った　→1 点
　○（過剰な灌漑で）土壌が塩性化した／土壌に塩類が蓄積した　→1 点

⑷　4 点　※[指定語句]　小麦　ヤギや羊　樹木作物　3 つ全て　下線付きで使用

☆☆　指定語句不使用は，指定語句 1 つにつき 1 点減点。
　　ただし，解答中のどこかで使用していれば減点しない。
　　下線の付け忘れは，複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

主に冬の平地で，小麦をつくる冬作地とヤギや羊を飼う休閑地とに耕地を分ける二圃式農業が営まれてきたが，都市の成長で果実等の需要が増え，夏の乾燥に強い樹木作物の栽培が傾斜地で拡大した。(3 行)
【加点ポイント】
①＜2 点（1 点×2）＞【変化前の農業の形態】
　○二圃式農業／冬作地と休閑地を一年おきに繰り返した　→1 点
　○（冬に）小麦をつくり（休閑地で）ヤギや羊を飼う　→1 点
②＜1 点＞【傾斜地での栽培の特徴】
　○樹木作物の栽培／オリーブ（ブドウ／オレンジ／柑橘類／コルクガシ）の栽培　→1 点
③＜1 点＞【②の背景】
　○果実等の需要が増えた／人口増加により商業的農業が発達
　○夏の乾燥に強い作物の栽培が拡大した
　　} ○いずれかで 1 点

設問Ｂ
⑴　1 点　　○フランス

⑵　4 点
儀式でワインを飲むキリスト教徒が多い南欧諸国は値が大きい。飲酒を禁じられるムスリムが多い地域のうち，戒律の厳しい北アフリカは値が小さいが，世俗化の進んだトルコでは値がやや大きい。(3 行)
【加点ポイント】
①＜2 点（1 点×2）＞【値が大きい地域の特徴】
　○キリスト教徒が多い地域
　○南欧（イタリア・フランスなど）
　○（宗教儀式で）ワインを飲む
　○宗教で禁じられていない
　　} ○1 つ 1 点　2 点まで
②＜2 点（1 点×2）＞【値が小さい地域の特徴】
　○ムスリム（イスラム教徒）が多い地域
　○（宗教上）飲酒が禁じられる
　○戒律の厳しい北アフリカは値が小さい／世俗化の進んだトルコでは値がやや大きい
　　} ○1 つ 1 点　2 点まで

⑶　3 点
X ではバスク語，Y ではカタルーニャ語が過去に弾圧を受け，カスティリャ語を公式のスペイン語と位置付ける国への反感が強い。（2 行）
【加点ポイント】
①＜1 点＞【独立運動の理由】
　〇カスティリャ語のみが公式のスペイン語（公用語）とされる
　　／X と Y の言語が公用語と異なる
　　／X と Y の言語が過去に弾圧（公の場での使用禁止）を受けた　→1 点
②＜2 点（1 点×2）＞【言語の名称】
　〇（X は）バスク語
　〇（Y は）カタルーニャ語
　〇公用語（使用人口が最大の言語）はカスティリャ語
　　〇1 つ 1 点
　　2 点まで

第 2 問（20 点）
設問 A
⑴　1 点　　〇南アジア（インド周辺／パキスタン周辺）

⑵　2 点　※[指定語句]　気候変動　商品作物　　2 つ全て　下線付きで使用

☆☆　指定語句不使用は，指定語句 1 つにつき 1 点減点。
　　ただし，解答中のどこかで使用していれば減点しない。
　　下線の付け忘れは，複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

商品作物の生産重視のため自給用穀物生産が停滞し，社会経済の脆弱さにより気候変動で発生する干ばつが食料不足をもたらす。（2 行）
【加点ポイント】
①＜1 点＞【自然的背景】
　・気候変動による
　・干ばつ（水不足）／農作物（食料）生産量の減少
　　・2 つ揃って 1 点
　　×「砂漠化」
②＜1 点＞【社会的背景】
　・商品作物栽培のため
　・自給用穀物生産が停滞／自給用食料を栽培できない
　　・2 つ揃って 1 点
　（※「自給作物より商品作物が優先栽培される」→1 点）

⑶　3 点
アフリカでは水資源の制約，インフラ未整備，化学肥料の普及の遅れなどで，南アジアのような高収量品種の導入が進まなかった。（2 行）

【加点ポイント】
①＜1 点＞【⑴の地域（南アジア）の変化】（※⑴の正否を問わない）
　〇高収量品種の導入／品種改良により収穫量が増えた／肥料の使用／灌漑の導入　→1 点
　　（※「アフリカで高収量品種の導入が進まなかった」でも可）
　×「緑の革命」のみ
②＜2 点（1 点×2）＞【アフリカで①が進まない理由】
　〇水資源の制約／灌漑施設整備の遅れ（貧困のため整備不可）
　〇化学肥料の普及の遅れ（貧困のため入手不可）／イモ類等の品種改良の遅れ
　〇インフラ（道路／鉄道）の未整備／資材や収穫物の輸送手段が未発達
　　〇1 つ 1 点　2 点まで

⑷　4 点
高温多湿の低緯度に位置し輸送インフラが未整備な発展途上地域では生産・貯蔵段階のロスが多く，高度に規格化された食品工業が発達し飽食傾向のある先進地域では加工・消費段階のロスが多い。（3 行）
【加点ポイント】
①＜2 点（1 点×2）＞【発展途上地域のロスと背景について】
　〇生産と貯蔵段階のロスが多い／生産・収穫と貯蔵段階のロスが多い　→1 点
　〇（背景）生産物を収穫しきれない／高温多湿で腐りやすい
　　／輸送インフラが未整備／冷蔵可能な貯蔵施設が少ない　→1 点
②＜2 点（1 点×2）＞【先進地域のロスと背景について】
　〇加工と消費段階のロスが多い／消費段階のロスが最も多い　→1 点
　〇（背景）飽食傾向である／過剰な購入（買っても食べずに捨てる）が行われがちである
　　／規格外の食品（農産物）が廃棄される／食品工業で加工時のロスが多い　→1 点

設問Ｂ
⑴　1 点（完答）
アー中国　イーインド　ウーアメリカ合衆国／アメリカ　エーフランス　オーオーストラリア

⑵　2 点
エ国は人口停滞と高齢化，他国は人口増加がみられるから。（1 行）
【加点ポイント】
★⑴「エーフランス」の正解を加点の前提とする。
①＜1 点＞【エ国で国内供給量が減少している理由】
　〇高齢化が進む／人口が停滞している　→1 点
　×人口が減少している
②＜1 点＞【他国では国内供給量が増加している理由】
　〇人口が増加している　→1 点

⑶　4 点　※[指定語句]　加工　自由貿易　フードシステム　3 つ全て　下線付きで使用

☆☆　指定語句不使用は，指定語句 1 つにつき 1 点減点。
ただし，解答中のどこかで使用していれば減点しない。
下線の付け忘れは，複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

自由貿易体制と多国籍企業による高度なフードシステムのもと，生産コストの安い外国で加工された小麦製品の輸入が増加した。(2 行)

【加点ポイント】

①＜1 点＞【3 カ国に共通する特徴】

○（加工された）小麦製品の輸入が増加した　→1 点

×小麦の輸入が増加した

②＜3 点（1 点×3）＞【①の背景】

○（輸入される小麦製品は）生産コスト（労働賃金）の安い外国で加工された　→1 点

（※「コスト」について言及のないものは加点しない）

○自由貿易体制（が整う）／自由貿易により関税が低い（無い）　→1 点

○高度なフードシステムが確立されている

／多国籍企業（穀物メジャー）のフードシステムにより流通する　→1 点

（※「フードシステム」を「食品の世界規模の流通の仕組み」の意でとらえていれば可）

⑷　3 点

天候不順によって発生する病虫害への抵抗性を高めた遺伝子組み換え作物が選好され，とうもろこしや大豆への転作が増加した。(2 行)

【加点ポイント】

①＜1 点＞【転作作物の例】

○とうもろこし／大豆　→1 点

②＜1 点＞【①の作物の特徴】

○遺伝子組み換え作物である　→1 点

×バイオエタノールの原料になる

③＜1 点＞【②の特徴】

○病虫害への抵抗性が高い／病気（害虫）に強い／農薬への耐性がある　→1 点

第 3 問（20 点）

設問 A

⑴　3 点

バブル崩壊後の景気低迷に対応して国内投資が抑制されたうえ，円高やグローバル化を背景にした製造拠点の海外移転が進行した。(2 行)

【加点ポイント】
①＜2 点（1 点×2）＞【当時の日本の経済動向】
　○バブル崩壊／バブル経済の崩壊　→1 点
　○円高／人件費の上昇　→1 点
②＜1 点＞【日本の製造業の動向】
　○製造拠点の海外移転／工場の海外進出／海外（東南アジアや中国など）での生産が増加
　　／（国内で）工場新設の忌避　→1 点

⑵　2 点
物流拠点に必要な広大な用地を得られる未開発の平野に乏しい。（1 行）
【加点ポイント】
①＜1 点＞【近畿圏の地形的な要因】
　○平野が乏しい／広大な平坦地が少ない／山地や丘陵地が多い　→1 点
②＜1 点＞【広大な用地の用途】
　○（物流）拠点／大型倉庫／トラックヤード　→1 点

⑶　3 点
時間外労働の上限規制強化で運転手の不足が想定され，効率的な配送を可能とする新たな物流拠点や中継地点の整備が求められた。（2 行）
【加点ポイント】
①＜1 点＞【2024 年問題の内容】
　○運転手不足／物流業での人手不足　→1 点
②＜1 点＞【①の要因】
　○時間外労働の上限規制強化／働き方改革で労働時間が制限される
　　／運転手の残業時間が（年間 960 時間に）制限される　→1 点
③＜1 点＞【①②の解決策】
　○新たな物流拠点の整備／中継地点の整備／効率的な配送のための拠点整備　→1 点

⑷　4 点　※[指定語句]　経済安全保障　スマート工場　中国　3 つ全て　下線付きで使用

☆☆　指定語句不使用は，指定語句 1 つにつき 1 点減点。
　　ただし，解答中のどこかで使用していれば減点しない。
　　下線の付け忘れは，複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

中国の人件費上昇や円安により製造業の国内回帰が進み，生産性の向上を図りスマート工場への設備投資が増えた。さらに，経済安全保障の観点から半導体などの国内生産拠点の強化が進められた。（3 行）
【加点ポイント】
①＜2 点（1 点×2）＞【2010 年以降の製造業の動向】
　○製造業の国内回帰が進んだ
　　／海外（中国など）の工場（生産拠点）を国内に移す企業が増えた　→1 点

○国内でのスマート工場の設備投資（建設）が増えた　→1 点

②＜2 点（1 点×2）＞【①の背景】

○中国（東南アジアなど）の人件費上昇／円安転換

／省人化（自動化／デジタル技術の活用）による生産性の向上（コスト削減）　→1 点

○経済安全保障の観点／経済安全保障推進法が成立した

／経済的な側面から国家の安全保障が求められた

／経済活動に不可欠な物資（半導体など）を安定的に供給する必要性が高まった　→1 点

設問Ｂ

⑴　2 点

Ａ－イ　　Ｂ－ウ　　Ｃ－ア　　Ｄ－エ

※4 個正解　→2 点　　1～3 個正解　→1 点　　0 個正解　→0 点

⑵　2 点

大震災の後，沿岸部からの避難者や復興事業労働者が流入した。（1 行）

【加点ポイント】（※⑴の正否は問わない。）

①＜1 点＞【流入人口の内容】

○避難者／被災者／復興事業（建設・インフラ整備）労働者／住居を失った人　→1 点

②＜1 点＞【①の背景】

○大震災／東日本大震災／東北地方太平洋沖地震／原発事故　→1 点

⑶　4 点　※[指定語句]　空港　コンパクト　スタートアップ　3 つ全て　下線付きで使用

☆☆　指定語句不使用は，指定語句 1 つにつき 1 点減点。
ただし，解答中のどこかで使用していれば減点しない。
下線の付け忘れは，複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

近接するアジア市場を狙うスタートアップ企業の立地優位性，都心部に機能が集積するコンパクトな都市構造，空港へのアクセス利便性など，就業や生活のしやすさが九州各地からの若者を集める。（3 行）

【加点ポイント】（※⑴の正否は問わない。）

①＜1 点＞【福岡市が若者を集める理由】

○就業しやすい／生活しやすい／通勤・通学に時間がかからない／起業しやすい　→1 点

②＜3 点（1 点×3）＞【①の背景】

○空港へのアクセス利便性が高い／（福岡市の）都心部と空港が近い

／空港と（福岡市の）都心が地下鉄で直結されている　→1 点

○都心部（博多駅～天神）に機能が集積するコンパクトな都市構造である

／商業施設やオフィスと住宅が集積したコンパクトな都市である

／交通機関（地下鉄・バスなど）の発達でコンパクトな都市構造となっている　→1 点

○スタートアップ企業の市場となるアジアに近接する

／スタートアップ企業の狙うアジアへのゲートウェイ機能を持つ

／国内外への航空路線が多い空港がスタートアップ企業の魅力となる　→1 点